

# 横浜市立中高一貫教育校の設置についての主な意見

- 1 意見募集期間 8月10日(月)～9月25日(金)
- 2 配布数(各区役所及び港南区内公共施設) 348枚(設置数1104枚)  
他 横浜市教育委員会ホームページに掲載
- 3 寄せられた意見 35 (意見募集期間終了後に届いた意見1を含む)  
(賛成と思われる意見 7 反対と思われる意見 25 その他 3)

## 主な意見

### 賛成意見

- 中高一貫教育の意義・効果は認められているが、横浜では私立しかなく、現状では経済的余裕が必要。市が中高一貫校を提供することは大変素晴らしい。
- 小学生の子どもがいるが、経済的理由もあり私立でなく都内の国立付属を受験するつもりでいた。横浜市立の中高一貫校ができると知り、6年間じっくり自分に合った進路を考えられる一貫校は魅力的だと考える。
- 南高校の近隣に住む者として、横浜市で、公立の中高一貫校を中等教育学校として発足することに賛成する。これから中学・高校に通うようになる子どもを持つ親として、選択肢が増えて良いと思う。
- 高校入試の影響を受けないゆとりを生かして、単なる知識ではなく、例えば立体的な感覚として身に付けさせるなどの、質の高い教育に時間を費やし、真の学力を持った生徒を育てて欲しい。

### 反対意見



- 公立学校の中高一貫校は、公教育としてふさわしくない学校形態だと考える。
- 経済的負担が少ない公立の中高一貫のニーズが高いとされているが、合格までに学校以外の学習が必要となり、経済的に負担がかかる。学校の勉強を頑張れば受かる公立が地元であり、交通費もかからない方が経済的といえる。
- 南高の中高一貫校化は、南高OB・教員・そして地元地域の皆さんの努力を無とするもの。地元住民の声を無視した本方針は白紙撤回されるべきであり、中高一貫校方針は新たな場所で検討され設置される事を望む。
- 公立校は、小学校での受験教育を排し、受け皿として機能させるのが使命。真に英才教育を標榜するならば、特色あるカリキュラムや併設型で考えるべき。
- 中高一貫校自体には反対ではないが、南高の改編には絶対反対。南高が信頼があるのは南高だからで、中高一貫になってからも信頼を得られるとは限らない。
- 余裕ある学校生活を送れるとあるが、余裕と言うより競争意識に乏しい生温い環境になると考え、ゆとり教育の失敗が生かされていないのではないかと。また、南高の良さが半減されてしまう。
- 横浜市の将来を担う市民を育てるために、なぜ中高一貫教育なのか。市民は質の高い公立学校を求めているのであり、既存の中高の条件整備がされ、落ち着いた学校生活を送れるようになれば、一貫校である必要はない。
- 旧南部学区は極端に公立の全日制普通高校が少なくなってしまう。全県学区で受験はできるが、経済的に恵まれない子は、交通費も大きな負担。全日制に入れなければ定時制等へ進路変更を迫られるが、すでに定時制もパンク状態で、南高を中高一貫校にすることで、高校にいけない子、生活が不安定な人を増やすことになる。
- 中高一貫校になると地元の子が通う質のいい高校がなくなり大変困っている。地元小学校の優先枠を作って欲しい。